

□ 要請番号 (JL31222B01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
チリ	G130 柔道		個別	新規 2代目	2年	・ 2023/2 ・ 2023/4 ・ 2024/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国際協力庁

2) 配属機関名 (日本語)

チリ柔道連盟

3) 任地 (サンチアゴ) JICA事務所の所在地 (サンチアゴ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先であるチリ柔道連盟は、チリ国内の柔道クラブを統括する組織として、チリオリンピック委員会や国際柔道連盟に認知されている団体。10名の役員及び3つの委員会(倫理・規律、技術、会計)で構成されている。国内13か所に強化選手育成センター、5か所に指導者育成教室がある。フランス人のヘッドコーチが雇用されている。2022年度年間予算は40万USドル。 www.fejuchile.cl/

【要請概要】

1) 要請理由・背景

南米の優等生と言われるチリ国民の大半は勤勉で、プライドを持ち努力を重ね国づくりに励んできたが、地域的・経済的な違いから生じるQOLの格差は未だ存在している。その状況下配属先では、国際試合に対応できる選手の育成を目的として、海外からのコーチを招へいし、選手や指導者の育成、指導力の強化を図っている。徐々に成績も上がってきており、2017年世界大会への出場、2021年東京オリンピック48キロ級女性1名の出場を果たしている。若年層の柔道人口増加と技術向上を目指していることから、継続した技術サポートが求められている。2015-2017年に隊員が活動していたが、引き続き代表選手への助言と、チリ国内巡回サポート等、チリ国内での柔道普及への支援が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

以下の活動を、配属先と協議しながら実施する。

1. サンチアゴに於いて、チリ代表候補選手の育成支援を行う。

2. 練習内容の改善点についてコーチ陣と相談しながら、より効果的な練習・指導方法を導入する。

3. 地方合宿に参加して、選手や指導者への助言を行い、チリにおける柔道の普及に貢献する。

※練習生は学生や社会人が多いことから、活動は夕刻～夜間となる。また合宿や練習試合等で、地方巡回も多い。1回の練習参加者数は平均25～30人。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

道場

4) 配属先同僚及び活動対象者

カウンターパート:柔道指導者(チリ人男性、指導歴9年、30歳代)
対象者:国際大会代表候補選手(男・女)
首都の10-30代(部活・一般レベル)の練習生

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)又はスペイン語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(柔道三段)

[学歴]：() 備考：

[性別]：(男性) 備考：配属先の希望

[経験]：(競技経験) 5年以上 備考：同僚への助言有

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(0～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可)

[水道]：(安定)

【特記事項】